

令和3年度 消防長「政策宣言」達成状況

消防長 木田 徹

○ 令和3年度重要事業

事業名	住宅防火の推進
目標	女性消防団員や女性防火クラブ員による駅や商業施設での防火指導を通じて、住宅用火災警報器の適切な維持管理やコンロ・タバコなどの火災原因に応じた出火防止対策を周知するなど、効果的な啓発活動を推進します。
年度末達成状況	女性防火クラブ員には、防災に関する研修会を実施し、春と秋の火災予防週間中に市内の大型店舗において、11月に通勤時間帯の駅や停留所において、ポケットティッシュを配布して住宅用火災警報器の維持管理など、火災予防の啓発活動を行いました。
自己評価	駅・停留所や大型店舗で実施したことで、大勢の方に住宅用火災警報器の普及と火災予防の啓発を行うことができました。 今後も多くの機会を捉えて普及・啓発活動を行います。

事業名	救命率の向上
目標	市民に対する予防救急の推進を図るとともに、応急手当の普及啓発、高度な救命処置が行える救急救命士の養成など救急救命体制強化を図り、救命の連鎖を強固にします。
年度末達成状況	コロナ禍ではありましたが、小規模の救命講習会を継続して実施し、応急手当の普及啓発に努めました。 救急救命体制の強化では、心肺停止前に血管から薬剤の投与ができる救急救命士4名と、気道の中へチューブを挿入して人工呼吸ができる救急救命士を1名養成して、特定行為ができる救急救命士を増員し救急救命体制を強化しました。
自己評価	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、応急手当の普及啓発を継続して行うことができました。 また、特定行為ができる救急救命士を増員して、救命の連鎖を強固にすることができました。

事業名	大規模災害への対応力の強化
目 標	日常生活を脅かす火災や事故等の災害はもとより、今後発生が危惧される巨大地震や風水害等の大規模災害に対応し、市民一人ひとりがこれに備え、発生時に的確に対応することができるよう、自主防災訓練等を通じて災害対応力の強化を図ります。
年度末 達成状況	新型コロナウイルス感染症の感染状況も踏まえつつ、市内の4地区で自主防災訓練を開催し、災害対応力の強化を図りました。 また、消防団員を県消防学校へ派遣して、災害時の指揮や指導力の強化を図ることができました。
自己評価	コロナ禍においても多くの方に災害対応力を身に付けていただくため、今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら自主防災訓練等を開催し、災害対応力の強化を図ります。 また、消防団員の研修の機会を増やし、指揮や指導力を養い消防団のレベルアップを図ります。